

# 現状：都立公園等の表土由来の流亡水中における無機窒素と磷の推定濃度、および表土に含まれる量

成分	窒素			磷
	NO <sub>3</sub> <sup>-</sup> (硝酸)	NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> (アンモニウム)	硝酸とアンモニウム 水に溶ける全窒素の近似値	PO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> (リン酸)
<b>水質基準</b>	<b>N や P を濃度で表示: mg/L</b>			
*項目類型 IV	1 以下	1 以下	1 以下	0.09 以下
*項目類型 V	1 以下	1 以下	1 以下	0.1 以下
**新水質基準 D	--	<u>2.0 超</u>	--	--
<b>井の頭公園</b>				
1	4.9	1.9	6.8	1.5
2	2.6	<u>2.6</u>	5.2	1.1
3	7.5	<u>2.6</u>	10.1	0.6
4	3.4	<u>3.0</u>	6.4	1.1
<b>善福寺公園</b>				
5	3.6	<u>2.8</u>	6.4	1.1
6	1.5	<u>15.4</u>	16.9	2.8
7	1.3	<u>2.4</u>	3.7	2.8
8	11.3	<u>2.1</u>	13.4	0.4
<b>葛西臨海公園</b>				
9	1.9	<u>4.9</u>	6.8	1.1
10	2.4	<u>2.4</u>	4.8	2.1
11	5.1	1.9	7.0	0.6
<b>葛西海浜公園 (ラムサール条約湿地、H30年10月18日に登録)</b>				
12	0.6	<u>2.1</u>	2.7	2.1
<b>小山内裏公園</b>				
13	9.8	<u>2.6</u>	12.4	0.4
14	1.3	0.2	1.5	0.6
15	1.3	1.9	3.2	0.2
16	21.8	0.4	22.2	0.4
17	4.1	0.0	4.1	0.4
18	1.7	0.4	2.1	0.4
<b>多摩川河川敷 (上流の羽村堤下橋の左岸 19, 羽村堤下橋の右岸 20、中流の是政 21, 22、下流の丸子橋 23,24)</b>				
19	10.9	0.9	11.8	0.9
20	2.8	1.3	4.1	0.2
21	0.7	0.0	0.7	0.6
22	1.1	1.3	2.4	0.6
23	0.9	0.4	1.3	1.5
24	18.0	0.6	18.6	0.4
<b>若洲海浜公園</b>				
25-L	12.8	<u>2.8</u>	15.6	0.4
25-S	11.8	1.5	13.3	0.4
26-L	7.9	1.1	9.0	0.9
26-S	5.4	0.6	6.0	0.2
27-L	6.6	<u>2.1</u>	8.7	0.4
27-S	15.2	<u>3.4</u>	18.6	0.2
28-L	14.3	0.9	15.2	0.4
28-S	2.1	1.5	3.6	0.6
29-L	14.6	<u>3.0</u>	17.6	1.1
29-S	17.8	1.3	19.1	0.4
30-L	9.6	1.5	11.1	0.4
30-S	11.3	1.7	13.0	0.4

**含まれる N や P を面積当たりの量で表示**

**上記公園の 2 cm 厚の表土が含む N, P 平均量      3.5 kg N/ha      0.5 kg P/ha**

赤色の数字は異常。流亡が起こる梅雨の前(H 30年5月から6月)に表土を採取した。流亡水と想定される表土からの水抽出液中の各成分量と、流亡が起こった際の推定水量から上記の値を算出した。

\*全てが海域の項目類型 IV や湖沼の項目類型 V(環境省、H15年)における水質基準の N か P の数値を超えている。

\*\*下線を施したアンモニウム濃度は、国土交通省の新水質基準 (関東地方一級河川の水質現況、H29年)にて、生物が生息・生育・繁殖しにくいと評価される D ランクの数値に相当する。



採取場所の例：表土がある所(芝地も含む)

井の頭公園

3



4



善福寺公園

6



8



葛西臨海公園

9



10



葛西海浜公園 (ラムサール条約湿地)

12



小山内裏公園

13



16





多摩川河川敷（上流の羽村堤下橋 19，中流の是政 22、下流の丸子橋 24）

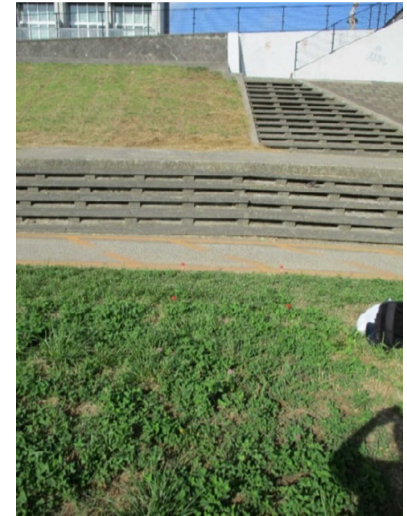
19



22



24



若洲海浜公園

25-L



27-S



29-L



29-S

